



今期から経営革新マーケティング委員会の委員長を仰せつかりました東京都の木村崇義です。2年間よろしくお願い致します。

印刷業界が直面する多くの課題を乗り越えるには、同質化による価格競争から差別化による「価値協創」へのシフトが必要です。経営革新マーケティング委員会は価値協創の実現のため、「価値創出支援」、「経営基盤強化支援」、「オープンイノベーションの推進」の3つの部会を立ち上げ、事業を進めていきます。

価値創出支援事業では、変化する顧客ニーズへの対応や新たな顧客価値を創るための支援を図ります。価値創出に繋がる業態変革の好事例を収集・研究・発信していきます。令和6年度は「価値と価格(見積)」に関するセミナーをスタートにして、価値創出のための日常的な戦術(考え方)から、新たな価値を創出するための戦略(例えば令和版業態変革のようなこと)に取り組みたいと思っています。

経営基盤強化支援事業は価値協創のための経営基盤を創るための取り組みです。一番のポイントとして、生産性の向上、生産工程の見える化に注目し、印刷業の収益を改善する情報を発信します。具体的な支援策に中小印刷会社向けの基幹業務システム「BRAIN」の提供(販売)があります。生産工程の見える化やDXについて、単にシステムだけの提供・紹介ということではなく、様々な基幹システムを各社がどのように活用して生産性を向上させているかなど、各種システムが進化してきている今だからこそ、その活用事例紹介やシステムと連動している現場の仕組みなども含めて、研究・発信していければと考えています。

## 経営革新マーケティング委員会

委員長 木村 崇義氏

### 価値づくりに繋がる事業を展開

### 挑戦しやすい事例を広く紹介

オープンイノベーションの推進事業では、業界内外のつながりを強め、協創のための仕掛け作りを進めます。令和6年度は、印刷機材メーカーなどの印刷関連業と連携を強めていきます。7月29日には「drupaの振り返りと業界トレンド分析」をテーマにしたセミナーを実施しました。今後はメーカーのソリューション事例や補助金・助成金情報などを発信していくとともに、効果的に組合員に情報発信していくための仕組みの強化(協創)も視野に活動を進める予定です。

私の委員会活動の方針としては「実践」があります。私自身(また委員会メンバー)がやらない、やれないようなテーマは扱わず、私たち自身が実践して役に立つと思えるものを取り組んでいきたいと思っています。価値協創につながる経マの委員会活動、全国組合員の皆様もぜひ一緒に実践していきませんか? セミナー等のご参加、お待ちしております。

#### 価値創出支援事業

- 価値創出の事例研究/事例発信
- 価値創出に向けた活動支援
- ケースメソッドの周知

#### 経営基盤強化支援事業

- 生産性向上や見える化の事例研究/事例発信
- 生産性向上や見える化の活動支援 (BRAIN等の支援策案内)
- 勝ち残り合宿ゼミの周知
- 下請法適正化の推進協力

#### オープンイノベーションの推進事業

- オープンイノベーション (異業界/関連業界/組合員間の協創) 推進
- 「共創ネットワーク通信」の活性化と機能強化
- Adobeライセンスプログラムの周知/普及に向けた情報発信
- 印刷産業連携推進室との連携と活性化の推進